

保育園自己評価(令和6年度)

川尻保育園

新保育所保育指針では「保育所は保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、園の保育内容等について評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。

よって、川尻保育園では、これに基づき検討し保育園としての自己評価について、項目、視点および評価結果を下記の通り公表いたします。

評価するにあたっては、下記のような基準で行っています。

A:大変良い B:良い C:一部検討を要する項目 D:改善を要する

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標	保育理念、方針、目標は全職員で共通理解を図っている	29%	43%	14%	14%	・内容の見直しを行っていないため時代に合ったものになっていない。見直しを行った上で共通理解が必要
	保育方針や目標に基づいて、クラスの年間目標を立てている	43%	29%	29%	0	
保育	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている	43%	57%	0	0	・毎日の関りを大切にすることで、成長の援助へつなげられるようにした。 ・運動会や発表会だけでなく普段から子どもの話に耳を傾け、子どもに寄り添った保育をしていると思う。 ・行事等は主体性を大事に行えたと思う。 ・興味があるものや遊びの準備に時間がかかってしまった。すぐに準備できるような環境を整えていく。 ・年齢に合った玩具や遊びを取り入れられていない。混合保育という難しさはあるが、少しずつできる範囲で、コーナー遊び等の環境作りをしていく必要がある。 ・各年齢の発達段階についての理解や年齢に合った教材研究などについてまだまだ学ぶべきところがある。
	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢、個々の発達に留意した指導計画を作成している	43%	57%	0	0	
	子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮し、保育を行っている	29%	71%	0	0	
	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている	71%	29%	0	0	
	子ども一人ひとりの主体性を大切にしたい保育をしている	71%	14%	14%	0	
	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しサインを見逃さずに対応している	57%	43%	0	0	
	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ見通しをもちながら進めている	14%	57%	29%	0	
	子どもの発達、興味に合った保育内容であり、子どもが意欲的に遊んでいる	29%	71%	0	0	
	子ども一人ひとりの育ちの違いを把握し、その子にあった声かけの工夫をしている	29%	71%	0	0	
	職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育を行っている	71%	29%	0	0	
	素材、用具を適切に活用している	29%	57%	14%	0	
	評価結果を基に、保育の改善に努めている	29%	57%	14%	0	
行事	1日の流れ(デイリープログラム)は現行で良い	57%	43%	0	0	・園児数の減少に伴って行事については見直しが必要になってきている
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	71%	29%	0	0	
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	43%	57%	0	0	
	保護者の願いや意見を取り入れている	29%	71%	0	0	
環境・整備	行事の種類や実施回数は適切か	43%	43%	14%	0	・ホールや年長の部屋に現在設置している玩具で飽きることなく遊んでいるが、玩具の種類を増やしコーナーを作るより充実した遊びが展開されると思う。 ・コーナー作りの工夫がもう少し必要。 ・園舎が古いこともあり思うような環境設定ができない部分もある
	子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている	57%	43%	0	0	
	保育室の衛生・清掃・整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室作りを心掛けている	86%	14%	0	0	
	用具等を活動しやすいように、整理・保管している	29%	71%	0	0	
	子どもたちが主体的に活動できるよう環境設定している	14%	71%	14%	0	
	施設内外・設備の安全を常に心がけ、気づいたら直ちに報告・整備する	71%	29%	0	0	

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
園の組織・役割分担	保育についての話し合いをこまめにし、意見統一が できている	100%	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育会議や職員会議や園内研修等で職員みんなで方法を考え話し合っている。 ・気づいたことなど聞きたいことはすぐに相談することができる。 ・職員間での「報・連・相」で連携を図り、働きやすい環境作りに努めていきたい。 ・会議内で質問や発言などがもう少しあるとよい。 ・子どもの様子や保育についてすぐに相談や話し合える環境ができているので、そのまま続けていけたら良いと思う。
	職員間の連携がとれている	86%	14%	0	0	
	それぞれの役割を把握し、適切な動きができている	71%	29%	0	0	
	職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	86%	14%	0	0	
	各職員が任せられている仕事は責任をもってこなしている	71%	43%	0	0	
	各職員が職員会議等で必要と思う質問や意見を発言 することができている	57%	43%	0	0	
	研修への参加は積極的に行い、専門職としての知識や スキルの向上に取り組んでいる	57%	43%	0	0	
	研修で得た内容・成果は研修報告書を基に、職員全員 に伝達し、共有している	86%	14%	0	0	
保護者・来客対応	保護者に対して、丁寧な言葉づかいと、気持ちの良い 対応を心掛けている	43%	43%	14%	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対応についてはそれぞれが丁寧に対応していると思う。こちらの思いがうまく伝わらないこともあるが、言葉の使い方には特に気を配りたい。 ・感染症時の対応などは、職員で共通理解（対応）が必要。 ・今年度はドキュメンテーションの発行も多く、行事への取り組みが家庭に伝わりやすくなっていると思う。
	送迎時に子どもの様子・姿を保護者に伝えている	100%	0	0	0	
	保護者の思いを理解するように努め、丁寧に連携をとって いる	29%	71%	0	0	
	子どもの姿を言葉で伝えることを心がけ、良い部分だけで なく気になる事も相談し合い「一緒に子育て」を大切にしてい る	43%	57%	0	0	
	おたより等で必要なことを伝えている。また、保護者に子ど もの日常の生活がわかるよう情報を発信している	71%	29%	0	0	
	保護者・来客に笑顔で挨拶し、気持ちの良い受け入れをし ている	86%	14%	0	0	
給食	食育の計画を作成し、よりよい食習慣や心身の健康の 基礎を培うよう努めている	43%	29%	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士も入れての給食会議も必要だと思う。 ・給食を食べている様子を見て家庭にも伝えていけたらと思う。 ・誤飲などについては意識して行ってきた。 ・指導計画等は全職員での共通理解が必要
	食に関して「家庭」「調理員」「栄養士」「保育士」と連携 がとれている	57%	43%	0	0	
	食に関するアレルギーのある子どもに対して個々の対応 ができている	86%	14%	0	0	
	誤飲による重大事故が起きないように配慮している	71%	29%	0	0	
情報管理	個人情報など掲載されている書類については厳重に管理し 保管されている	71%	29%	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の書類などは、ノンコンタクトタイムなどを有効に使って園内でできるようにする。
	園内で知り得た情報の守秘義務は徹底できている	43%	57%	0	0	

＊1番評価の多かった項目は、A評価が全体の6割、B評価が4割という結果になりました。

まだまだ、改善を要する項目や課題もあるので更に検討を重ねより良い保育ができるよう努めていきたい